



FSx for ON

Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

FSx for ON	1
NetApp Workload FactoryのFSx for ONTAP向けカスタムダッシュボードについて	1
カスタムダッシュボードを使用する理由	1
カスタムダッシュボードでできること	1
ダッシュボードの表示と共有	2
考慮事項と制限事項	2
次の手順	3
NetApp Workload Factoryでカスタムダッシュボードを作成する	3
ダッシュボードを作成する	4
関連情報	5
NetApp Workload Factoryでカスタムダッシュボードを管理する	5
ダッシュボードカタログにアクセスする	5
ダッシュボードの表示設定を変更する	5
ダッシュボードのデータを更新する	6
ダッシュボードを削除する	6
関連情報	6
NetApp Workload Factoryにおけるカスタムダッシュボードのトラブルシューティング	6
ダッシュボードの作成に失敗しました	6
ダッシュボードのデータ読み込みに失敗しました	7
ダッシュボードが読み込まれない、または読み込みが遅い	7
ダッシュボードが見つかりません	7
追加ヘルプ	8

FSx for ON

NetApp Workload FactoryのFSx for ONTAP向けカスタムダッシュボードについて

クラウドおよびストレージ管理者にとって、カスタムダッシュボードは、管理するシステムとワークロードを明確に把握するのに役立ちます。あらかじめ用意されたレイアウトに限定されることなく、自分の仕事内容、優先順位、ビジネス目標に合ったビューを構築し、カスタマイズすることができます。

カスタムダッシュボードは、AIを使用してWorkload Factory環境のパーソナライズされたビューを作成します。監視したい内容を平易な言葉で説明するだけで、システムがニーズに基づいて自動的にビジュアルチャートを作成します。

Workload Factoryアカウントのすべてのユーザーは、すべてのカスタムダッシュボードを閲覧できます。この共有設定により、チームは組織全体で連携し、同じ運用情報を共有できるようになります。



アカウント管理者がAI機能を無効にしている場合、メッセージが表示され、ダッシュボードを作成できなくなります。管理者に連絡するか、["AI管理について学ぶ"](#)。

カスタムダッシュボードを使用する理由

Workload Factoryのユーザーは、多くのワークロード、環境、および優先順位を管理しますが、標準ダッシュボードにはあらかじめ設定されたビューしか表示されません。カスタムダッシュボードは、いくつかの運用上の課題を解決するのに役立ちます：

- 重要な質問に素早く回答する：一般的なシステム統計ではなく、最も重要な質問や理解のギャップに焦点を当ててください。
- 今重要なことを監視する：固定された一連のヘルス指標ではなく、現在の優先事項に合致する指標を追跡します。
- 技術データとビジネス成果を結びつける：システムのパフォーマンスが業務やビジネス目標にどのように影響するかを示します。
- ツール間の切り替えは不要：すべての関連情報を1か所で確認できます。ツール、ページ、エクスポートを切り替える必要はありません。

カスタムダッシュボードでできること

セットアップ中、AIガイドダイアログでは以下の項目を定義できます：

- 監視対象のワークロードとリソース
- 仕事にとって重要な主要指標
- 比較対象となる時間範囲と期間
- 地域別、ワークロード別、またはその他のカテゴリ別の表示
- 追跡および表示する必要のあるルールまたは要件

ダッシュボードの表示と共有

新しいダッシュボードはデフォルトで非公開になっているため、自分だけが閲覧できます。ダッシュボードはいつでも公開設定にして、チームと共有できます。

- プライベートダッシュボード：これらのダッシュボードはあなただけが閲覧できます。個人的なモニタリング、テスト、または進行中の作業にご利用ください。
- 公開ダッシュボード：Workload Factoryアカウントのすべてのユーザーがこれらのダッシュボードを閲覧できます。これらを使用して監視ビューを共有し、チーム内でワークロード、優先順位、およびビジネス目標の認識を統一してください。

各ダッシュボードカードには、そのダッシュボードが非公開か公開かが表示されるため、どのダッシュボードが共有されているかをすぐに確認できます。

["ダッシュボードの表示設定を変更する方法を説明します"](#)。

考慮事項と制限事項

AWS認証情報と権限

カスタムダッシュボードを作成または表示するには、監視対象のリソースに対する適切なAWS IAM権限が必要です。Workload Factoryアカウントが、ダッシュボードで使用されるデータソースへの読み取りアクセス権を持っていることを確認してください。

ダッシュボードを構築するために、Workload Factory は読み取り専用の AWS 認証情報を使用します。これらの認証情報では、次のサービスに対して `fsx:DescribeVolumes` や `fsx:DescribeFileSystems` などの読み取り操作のみが許可されます：EC2、FSx、CloudWatch、Resource Groups Tagging API、バックアップ、CloudWatch Logs、KMS、およびEFS。

["AWS認証情報を追加し、IAM権限を設定する方法を説明します。"](#)

FSx for ONTAP へのリンク

Workload Factory は、FSx for ONTAP ファイルシステムに接続するためのリンクを必要とします。リンクは、Workload Factory と 1 つ以上の FSx for ONTAP ファイルシステムとの間に信頼関係と接続性を確立します。これにより、Amazon FSx for ONTAP API では利用できない特定のファイルシステム機能を、ONTAP REST API 呼び出しを通じて直接監視および管理できます。

["リンクの作成方法を学ぶ"](#)。

読み取り専用設計

カスタムダッシュボードは読み取り専用です。ストレージやワークロードの設定を変更することはできません。これにより、誤って設定を変更することなく、システムを監視できます。

制限事項

カスタムダッシュボードには、現在以下の制限事項が適用されます。

- Workload Factoryアカウント以外でダッシュボードを共有することはできません。ダッシュボードの共有は、同一のWorkload Factoryアカウント内のユーザーに限定されます。

デモ環境

Workload Factory のデモアカウントをご利用の場合は、あらかじめ構築されたダッシュボードがいくつか利用可能です。これらのダッシュボードは、カスタムダッシュボードで何ができるかを理解するのに役立ちます。各ダッシュボードには、ディザスタリカバリのステータス、リージョンをまたいだ容量とコスト、ストレージ保護ルールが遵守されているかどうかなど、一般的な監視ニーズが表示されます。

サンプルプロンプト

以下の例は、監視ニーズを平易な言葉で説明する方法を示しています。

- 災害復旧監視：「AWSでオンプレミスシステムの災害復旧ソリューションをセットアップしています。米国東部リージョンの災害復旧サイトにおける、オンプレミスリソースの完全なリストと、それぞれのステータス（構成済み、アクティブ、正常かどうかを含む）を確認したいと思います。」
- 複数リージョンの容量とコスト：「複数のクラウドリージョンとアプリケーションにまたがるストレージを管理しています。割り当てたストレージ容量、使用中の容量、およびコストについて、リージョン別・アプリケーション別の詳細を含めて明確に把握したいと考えています。」
- ストレージ保護コンプライアンス：「組織の基準に基づいて、新しいストレージ保護戦略を策定しています。以下の要件を満たしているかどうか、すべてのファイルシステムを表示してください：すべてのファイルシステムを表示し、それらが以下の要件を満たしているかどうかを確認してください：
 - データベースのワークロード：ボリュームごとに1日12回のスナップショット、および週2回の改ざん防止スナップショット。
 - NFSおよびSMB共有：ボリュームごとに7つの日次スナップショットと、週1つの改ざん防止スナップショット。
 - ARPIはすべてのボリュームで有効にする必要があります。」

次の手順

- ["カスタムダッシュボードを作成する"](#)
- ["カスタムダッシュボードを管理する"](#)
- ["カスタムダッシュボードのトラブルシューティング"](#)

NetApp Workload Factoryでカスタムダッシュボードを作成する

監視したい内容を平易な言葉で記述することで、カスタムダッシュボードを作成できます。AIがセットアップ手順を案内し、ダッシュボードがワークロードと優先順位に合うようにします。

タスク概要

カスタムダッシュボードは、AIによる対話を通じて、ユーザーが視覚化したい内容を理解します。監視ニーズを自然言語で説明すると、システムが確認のための質問を投げかけ、ダッシュボードが要件を満たしていることを確認します。

作成後、ダッシュボードを更新すると最新のデータが表示されます。

カスタムダッシュボードは設計上読み取り専用であり、ストレージやワークロードの設定を変更することはできません。

きませんのでご注意ください。



アカウント管理者がAI機能を無効にしている場合、メッセージが表示され、ダッシュボードを作成できなくなります。管理者に連絡するか、["AI管理について学ぶ"](#)。

ダッシュボードを作成する

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. NetApp Consoleメニューから、ワークロード > ワークロードの概要 > *カスタムダッシュボード*を選択します。

これが初めてのダッシュボードの場合は、開始に役立つサンプルプロンプトが表示された空白の画面が表示されます。「プロンプトをコピー」を選択すると、サンプルプロンプトがAIダイアログのテキストボックスにコピーされます。

3. 「新しいダッシュボードを作成」を選択します。
4. AIダイアログで、監視したい内容を説明してください。

分かりやすい言葉で説明してください。AIは、お客様のニーズをより深く理解するために、いくつか質問をさせていただきます。

5. を選択します。
6. AIからの質問に回答してください。

AIは、ニーズをより深く理解するために、いくつかの選択肢の中から選択するよう求める場合があります。各質問に回答し、「続行」を選択するか、「スキップ」を選択してオプションの質問をスキップしてください。

7. すべての質問に回答したら、**Continue** を選択してダッシュボードを作成してください。

ダッシュボードを作成中です。少々お時間をいただく場合がございます。

結果

お客様専用のダッシュボードが作成され、ダッシュボードカタログに追加されました。デフォルトでは、ダッシュボードは非公開で、お客様のみに表示されます。Workload Factoryアカウント内の他のユーザーと共有したい場合は、公開設定を「公開」に変更できます。["ダッシュボードの表示設定を変更する方法を説明します"](#)。

ダッシュボードの準備が整うと通知が届きます。作成できない場合は、再試行するためのリンクが記載された通知が届きます。["通知の設定について"](#)。

次の手順

作成後、以下のことが可能です：

- ダッシュボードの公開範囲を変更して、チームと共有する
- 最新の情報を確認するには、ダッシュボードのデータを更新してください。
- 不要になったダッシュボードを削除する

- ダッシュボードの詳細（作成者や最終更新日時など）を表示します

関連情報

- ["カスタムダッシュボードを管理する"](#)
- ["カスタムダッシュボードのトラブルシューティング"](#)

NetApp Workload Factoryでカスタムダッシュボードを管理する

ダッシュボードカタログからカスタムダッシュボードを管理できます。そこから、詳細の表示、ダッシュボードの共有、データの更新、不要になったダッシュボードの削除などを行うことができます。

タスク概要

ダッシュボードカタログから、カスタムダッシュボードを表示および管理できます。プライベートダッシュボードはお客様のみ閲覧できますが、パブリックダッシュボードはWorkload Factoryアカウントのすべてのユーザーが閲覧できます。各ダッシュボードには、作成者名、作成日、公開設定（非公開または公開）などの基本的な詳細情報が表示されます。

カスタムダッシュボードは読み取り専用です。ストレージやワークロードの設定を変更することはできません。

開始する前に

Workload Factoryアカウントには、少なくとも1つのカスタムダッシュボードが必要です。

ダッシュボードカタログにアクセスする

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. NetApp Consoleメニューから、ワークロード > ワークロードの概要 > *カスタムダッシュボード*を選択します。

ダッシュボードカタログには、Workload Factoryアカウント内のすべてのカスタムダッシュボードが表示されます。

3. ダッシュボードのリストを確認してください。

ダッシュボードの表示設定を変更する

ダッシュボードを公開設定にして、チームと共有しましょう。共有を停止するには、非公開に設定してください。

手順

1. *カスタムダッシュボード*ページで、更新するダッシュボードを見つけます。
2. そのダッシュボードの*アクション*ドロップダウンメニュー...から、以下のいずれかを選択してください：
：

- ダッシュボードの共有 - Workload Factoryアカウントのすべてのユーザーにダッシュボードを表示します。
- プライベートダッシュボードに変更 - ダッシュボードを自分だけに表示します

結果

ダッシュボードは即座に更新されます。ダッシュボードカード上の表示状態ラベルには、現在のステータスが表示されます。

ダッシュボードのデータを更新する

ダッシュボードを開くと、ダッシュボードのデータが読み込まれます。最新の情報を確認するには、更新してください。

ダッシュボードはワークロードからデータを再読み込みします。最終更新時刻は、データが更新された日時を示すように変更されます。

ダッシュボードを削除する

不要になったダッシュボードは削除してください。この操作は永続的なものであり、元に戻すことはできません。

手順

1. 「カスタムダッシュボード」ページで、削除するダッシュボードを見つけます。
2. そのダッシュボードの **Actions** ドロップダウンメニューから **Delete** を選択します。
3. 削除を確認します。

結果

ダッシュボードはWorkload Factoryアカウントから完全に削除され、すべてのユーザーがアクセスできなくなります。

関連情報

- ["追加のカスタムダッシュボードを作成する"](#)
- ["カスタムダッシュボードのトラブルシューティング"](#)

NetApp Workload Factoryにおけるカスタムダッシュボードのトラブルシューティング

この情報を使用して、カスタムダッシュボードの作成時または使用時に発生する可能性のある一般的な問題を解決してください。

ダッシュボードの作成に失敗しました

問題： ダッシュボードを作成する際に、「リクエストの理解とコードの生成に失敗しました」というエラーメッセージが表示されます。

原因： システムはリクエストを理解できなかったか、プロンプトからビジュアルライゼーションを作成できま

せんでした。

解決策： 次のことを試してください：

- ・ 監視したい内容について、より明確な詳細を盛り込んでリクエストを書き直してください。
- ・ ["カスタムダッシュボードを作成する"](#)のサンプルプロンプトのいずれかから始めてください。
- ・ 複雑な監視ニーズを、よりシンプルな複数のダッシュボードに分割します。
- ・ 追跡したいワークロード、メトリクス、期間、またはディメンションを指定してください。

ダッシュボードのデータ読み込みに失敗しました

問題： ダッシュボードは作成されましたが、データの読み込み時にエラーが表示されます。

原因： これは通常、権限の問題またはデータソースが利用できないために発生します。

解決策：

- ・ 権限を確認してください： ワークロードファクトリーアカウントに、ダッシュボードで使用するワークロードとリソースへの読み取りアクセス権があることを確認してください。権限要件については、["AWS 認証情報と権限"](#)を参照してください。
- ・ 認証情報の確認： AWS認証情報が有効であり、有効期限が切れていないことを確認してください。詳細については、["AWS認証情報を追加する"](#)を参照してください。

ダッシュボードが読み込まれない、または読み込みが遅い

問題： ダッシュボードの読み込みが遅い、または一部のウィジェットが表示されない。

原因： 読み込みが遅い原因としては、ネットワークの問題、大量のデータ、または一時的なサービス遅延などが考えられます。

解決策：

- ・ インターネット接続を確認してください： インターネット接続が安定していることを確認してください。
- ・ ブラウザを更新してください： ページを更新して、ダッシュボードが正しく読み込まれるかどうか確認してください。
- ・ ブラウザのキャッシュと**Cookie**をクリアしてください： これにより、古いデータや破損したデータが原因で発生する読み込みの問題を解決できる場合があります。
- ・ しばらく待ってからもう一度試してください： 問題が解決しない場合は、数分待ってからもう一度試してください。

ダッシュボードが見つかりません

問題： 作成したダッシュボードがダッシュボードカタログに表示されなくなりました。

原因： Workload Factory アカウントの別のユーザーが削除した可能性があります。

解決策：

- 正しい Workload Factory アカウントにログインしていることを確認してください。
- アカウント内の他のユーザーに、誰かがダッシュボードを削除したかどうか尋ねてみてください。
- 必要に応じて、元の要件に基づいてダッシュボードを再作成してください。

Workload Factoryアカウントのすべてのユーザーは、カスタムダッシュボードを表示および削除できます。共有ダッシュボードを管理する際は、チームと連携してください。

追加ヘルプ

カスタムダッシュボードで引き続き問題が発生する場合は、NetAppサポートへの連絡方法については["ヘルプを表示"](#)を参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。